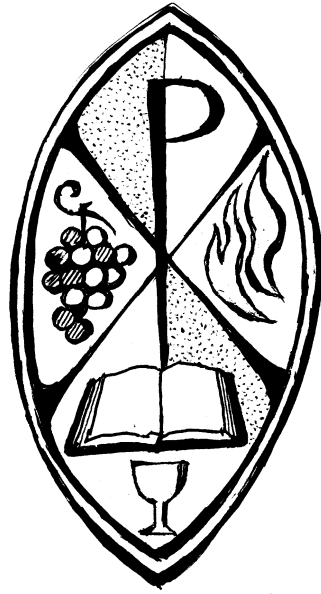


# 礼 拜 式 文



日 本 基 督 教 団 新 井 教 会



# 目 次

主日公同礼拝式文.....	2
神の招き.....	2
御言葉の礼拝.....	4
信仰の告白.....	6
感謝の礼拝.....	8
派    遣.....	14
洗礼式文.....	15
成人洗礼.....	15
幼児洗礼.....	20
堅信礼式文.....	25
転入会式式文.....	29
転会式式文.....	31
主日公同礼拝式文の解説.....	33

# 主 日 公 同 礼 拝 式 文

## = 神 の 招 き =

### 点鐘・前奏・入堂

# 礼拝開始時刻に鐘を鳴らす。点鐘後、すぐに前奏を奏でる。

# 司式者・説教者は前奏が始まってから入堂する。

### 招 詞

着 席

司式 愛する兄弟姉妹。主はあなた方を招いて言われます。

——（その日の礼拝のための神の招きの言葉）——

### 開式讃美

起 立

司式 開式讃美\_\_\_\_番、開式讃美\_\_\_\_番。

# 一同起立する。

### 罪の告白

起 立

司式 私たちは、父なる神の御前にまごころをもって近づき、罪をざんげし、主イエス・キリストの御名によって赦しを願いましょう。

父なる全能の神よ。

一同 私<sup>わたし</sup>たちは生<sup>う</sup>まれながら罪<sup>つみ</sup>深く、けがれに満<sup>み</sup>ち、思<sup>おも</sup>いと<sup>ことば</sup>言葉と行<sup>おこな</sup>いと<sup>おこた</sup>怠りによって多<sup>おほ</sup>くの罪<sup>つみ</sup>を犯<sup>おか</sup>しました。私<sup>わたし</sup>たちは御<sup>み</sup>前に罪<sup>つみ</sup>をざんげし、父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>の限<sup>かぎ</sup>りない憐<sup>あわれ</sup>みにより頼<sup>たの</sup>みます。

司式 憐み深い神よ。

一同 御<sup>み</sup>子<sup>こ</sup>イエス・キリストのゆえに、すべ<sup>つみ</sup>ての罪<sup>ゆる</sup>を赦<sup>くだ</sup>して下さい。聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>によつて、主<sup>しゅ</sup>と主<sup>しゅ</sup>の御<sup>み</sup>旨<sup>むね</sup>につい<sup>ち</sup>てのまこと<sup>あ</sup>の知識<sup>ち</sup>を<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>え、また主<sup>しゅ</sup>の御<sup>み</sup>言<sup>こと</sup>葉<sup>ば</sup>への従<sup>じゅう</sup>順<sup>じゆん</sup>な心<sup>こころ</sup>を私<sup>わたし</sup>たちに<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>えて<sup>くだ</sup>下さい。

（キリエ [憐れみの賛歌]）

司式 主よ、憐れんで下さい。

会衆 キリストよ、憐<sup>あ</sup>れんで<sup>くだ</sup>下さい。

司式 主よ、憐れんで下さい。

## 赦しの言葉

起立

司式 ひとりの御子イエス・キリストを死に渡し、すべての罪を赦された憐み深い神が、罪を悔い、御子を信じる者に、赦しと慰めを与えて下さるように。

一同 アーメン

## 交読詩編

起立

#交互に週報に掲載されている詩編を唱える。

**(グロリア・パトリ [頌栄])**

#詩編に続けて唱える。

司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。

会衆 <sup>はじ</sup>初めも<sup>いま</sup>今も、<sup>よよ</sup>世々に<sup>かぎ</sup>限りなく、アーメン

#一同着席する。

＝ 御 言 葉 の 礼 拝 ＝

祈 り（御言葉を聴く備えの祈り）

着 席

司式 主なる神よ、私たちの心を整えて、御言葉を受け入れるにふさわしい者として下さい。御言葉以外のいかなる声にも惑わされず、これを聞いて、御心に従うことができますように。主イエス・キリストの御名によって祈ります。

会衆 アーメン

聖書朗読

着 席

司式 聖書に記されている神の言葉を聞きましょう。

**旧約書の朗読**

司式 旧約聖書 \_\_\_\_\_書 \_\_章\_\_節より\_\_節までに記されている神の御言葉。

——（朗読者は朗読）——

**使徒書の朗読**

司式 新約聖書 \_\_\_\_\_書 \_\_章\_\_節より\_\_節までに記されている神の御言葉。

——（朗読者は朗読）——

**福音書の朗読**

説教者 新約聖書 \_\_\_\_\_書 \_\_章\_\_節より\_\_節までに記されている主イエス・キリストの福音。

——（説教者は朗読）——

説教者 以上、神の御言葉です。

祈願讃美

起 立

司式 祈願讃美\_\_\_\_番、祈願讃美\_\_\_\_番。

#一同起立する。

## 説 教

着 席

#一同着席する。

#説教者は初めに聖霊の照らしを求める祈りを唱える。

説教者 聖霊が私たちを照らし、導いて下さるように祈りましょう。

主よ、ただ言葉によってではなく、聖霊の力によって、私たちに福音を示して下さい。私たちの知るべきことを教え、なすべきことを明らかにし、神の言<sup>ことば</sup>としてこれらを語らせ、また聞きとることができますように。

会衆 アーメン

## 祈 り

着 席

#説教者は祈る。

## 応答讃美

起 立

司式 応答讃美\_\_\_\_番、応答讃美\_\_\_\_番。

#一同起立する。

## = 信 仰 の 告 白 =

# 洗礼・堅信礼・転入会式はここで執り行う。この場合、式中で信仰告白を行う。

信仰告白

起 立

### 日本基督教団信仰告白

一同 われ しん こくはく  
我らは信じかつ告白す。

きゆうしんやくせいしよ かみ れいかん な  
旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示し、教  
かい よ ゆいっ せいてん  
会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊によりて、神につき、救ひにつき  
て、全き知識を我らに与ふる神の言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

しゆ いえす・きりすとによりて けいじ せいしよ において あかし  
主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる唯一の神は、  
ちち こ せいれい さんみ いったい かみ  
父・子・聖霊なる、三位一体の神にいましたまふ。御子は我ら罪人の救ひのために  
ひと な じゆうじ か  
人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を全き犠牲として神にささげ、我らの贖  
ひ となりたまへり。

かみ めぐ われ えら  
神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らの罪を赦して義  
としたまふ。この変らざる恵みのうちに、聖霊は我らを潔めて義の果を結ばしめ、そ  
の 御業を成就したまふ。

きょうかい しゆ からだ めぐ み  
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひなり。教会は公  
の れいはい まも ふくいん ただ の つた え、  
の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝へ、バプテスマと主の晩餐との聖礼典を執り行  
ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む。

われ しん せいと とも しん しと しんじょう こくはく  
我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

# 続けて使徒信条を唱える。

### 使徒信条

一同 われ てんち つく めし ぜんのう ちち かみ しん われ  
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キ  
リストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめ  
処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトの  
もとに苦しみをうけ、じゆうじ か  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に  
死人のうちよりよみがへり、てん のぼ ぜんのう ちち かみ みぎ ざ  
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこ  
より来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。われ せいれい しん せい  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の  
きょうかい せいと まじ わり、  
教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだ のよみがへり、とこしえ いのち しん  
身、永遠の生命を信ず。アーメ  
ン。



## ニケア信条

一同 わたし 私たちは、ただひとりの神、すべてを支配される父、天と地と見えるものと見えな  
いもののすべての造り主を信じます。

またただひとりの主イエス・キリストを信じます。主は神の御子、御ひとり子であつ  
て、世々に先立って父から生まれ、光からの光、まことの神からのまことの神、造  
られたのでなくて生まれ、父と同質であつて、すべてのものは主によって造られました  
た。主は人間である私たちのため、わたしたちの救いのために、天からくだり、聖霊に  
よりおとめマリヤによって受肉し、人となり、私たちのためにポンティオ・ピラト  
のもとで十字架につけられ、苦しみをうけ、葬られ、聖書にあるとおりに三日目に復  
活し、天にのぼられました。そして父の右に座しておられます。また生きている者と  
死んだ者とをさばくために、栄光のうちに再び来られます。そのみ国は終わること  
がありません。

また聖霊を信じます。聖霊は主、いのちの与え主であり、父（と子）から出て、父と  
子と共に礼拝され、共に栄光を帰せられます。そして預言者によって語られました。  
私たちは、ひとつの聖なる公同の使徒的な教会を信じます。罪のゆるしのためのひ  
とつとつのパプテスマを認めます。死者の復活と、来るべき世のいのちを待ち望みます。  
アーメン。

# 一同着席する。

# 洗礼・堅信礼・転入会式以外の諸式はここで執り行ふ。

## = 感謝の礼拝 =

### 執り成しの祈り

着 席

# 司式者は「\_\_\_\_のために祈りましょう」と言って、祈りの課題を挙げる。

司式 執り成しの祈りを祈りましょう。

まず、会衆の皆さんで一人ずつ祈りましょう。順番は特に定めません。祈りの言葉が示されない方は沈黙のままで構いません。最後に司式者が祈ります。

# 会衆の有志は一人ずつ執り成しの祈りを祈る。各自はごく短く、ひとつのテーマのみを祈る（センテンス・プレーヤー）。他の人が祈った内容は繰り返さないよう注意する。

# 最後に司式者が執り成しの祈りを祈る。

### 平和の挨拶

起 立

# 一同起立する。

司式 主の平和が皆さんと共にありますように。

会衆 また、あなたと共に。

司式 しばらく自由に動いて、互いに平和の挨拶を交わしましょう。

# 一同は相互に、平和と和解のしるしとして平和の挨拶を交わす。

# 平和の挨拶を交わした後、一同着席する。

司式 主にささげましょう。

# 献金はここで集める。

# 聖餐が行われる礼拝の場合は、ここでパンとぶどう酒を献金と共に献げる。既に聖卓に置かれている場合、覆いを取り除く。

# 献金が聖卓に献げられたら、一同起立する。

祈 り

起 立

一同 恵み豊かな神よ。感謝と喜びをもって、今、この供え物をお献げいたします。また、あわせて、私たちの全身全霊をお献げいたします。どうか、私たちの日々の生活によって、天の父であるあなたがあがめられますように。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

# 聖餐が行われない礼拝の場合は、ここで主の祈りを祈る。

主の祈り

起 立

司式 主イエス・キリストが教えて下さった主の祈りを祈りましょう。

一同 天にまします我らの父よ、願わくは御名をあがめさせたまえ。  
御国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかすものを 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなく汝のものなればなり。アーメン。

# 一同着席する。

——14ページ「派遣」に移る

# 聖 餐

#一同着席する。

## 聖餐讃美

着 席

司式 聖餐讃美\_\_\_\_番、聖餐讃美\_\_\_\_番。

## 序 唱

着 席

司式 聖なる父、永遠にいます全能の神よ、いづどこにおいても、御子イエス・キリストによって、主に感謝し、主を賛美するのは、正しく喜ばしいことです。

御子は、父の生きた御言です。父は御子によって永遠の初めから万物を造り、みかたちに似せて私たちを造られました。父は、御子を人として生まれさせ、十字架の死と復活によって、私たちを罪の鎖から解放し、御子を御自身の右に上げられました。そして聖霊を送り、私たちを神の民として御前に立たせ、主の祭司として主とすべての人々に仕えさせて下さいます。

——（特別序唱）——

ゆえに私たちは、御使いと御使いの頭、および天の全会衆とともに、主の尊い御名をあげ、常に主をたたえて歌います。

## 聖なるかな [サンクトゥス]

着 席

一同 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神

主の栄光は天地に満つ

いと高きところにホサナ。

ほめたたえよ、主の御名によって来られる方を

いと高きところにホサナ。

——12ページへ

## (特別序唱)

### 待降節

私たちは御子イエス・キリストにおいて、預言者が約束した救い主がすでにおいでになったことと、また万物を新たにするために力と栄光をもって再びおいでになることを信じます。

### 降誕祭

とりわけ、聖霊の働きによって、御子をおとめマリアから生まれさせ、まことの人として下さいました。これは御子とその汚れない人性によって、神と人との間に立つ仲保者の務めを果たされるためでした。

### 公現祭・公現祭後の降誕節（顕現節）

あなたは世の光であるキリストを遣わして、すべての国民に栄光をあらわされました。そして、いつの時代にも、あなたは様々のしるしによって、世界のあらゆるところから御自分を礼拝する人々を集められます。

### 主の洗礼日

とりわけ、主イエスがヨハネから洗礼を受けて、私たち罪人と同じところに立って下さいましたことを感謝いたします。これによって、あなたは主イエスに聖霊の油を注ぎ、このお方こそ貧しい者に福音を伝える神の僕であることを明らかにして下さいました。

### 受難節・四旬節（1）

主イエスは、御子であるにもかかわらず、様々の苦難によって従順を学ばれ、試練のただ中にある人々を助けることができるお方とされました。主は私たちが悪に打ち勝ち、恵みによって成長することができるようにして下さいます。

### 受難節・四旬節（2）

主イエスは、父であるあなたと全世界に対する愛によって、御自分を低くされ、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられました。そして、主は地上から上げられて、すべての人を御自分のもとへ引き寄せ、辱めのしるしである十字架を栄光に輝く十字架になさいました。

### 棕櫚の主日

私たちは今、王としてエルサレムにお入りになったキリストを覚えます。主は苦しみを受けることなしに栄光にお入りになることも、十字架にかけられることなしに天に昇ることもなさいませんでした。主はひたすら十字架の道を歩まれ、その苦難の道を命と平和の道にして下さいました。

### 復活祭

とりわけ、御子イエス・キリストの復活を覚えて感謝いたします。主は過越しの子羊としてほふられ、私たちの罪と死を取り去って、永遠の命を与えて下さいました。

### 昇天日

とりわけ、主イエス・キリストの昇天を覚えて感謝いたします。御子は地上におけるすべての御業を成し遂げて天に昇り行く時、私たちの住まいを備えるとの約束を与えて下さいました。

### 聖霊降臨祭

とりわけ、この日、主イエス・キリストが約束された聖霊の降臨を覚えて感謝いたします。聖霊は私たちを真理に導き、教会に力を与えて、全世界に福音を宣べ伝えることができるようにして下さいました。

### 三位一体主日

あなたは、御独り子と聖霊と共にいまして、唯一の神であられます。私たちは父と子と聖霊が、永遠に一体であって、等しい栄光のうちにいますことを信じ、礼拝いたします。

### 万聖節・聖徒の日

あなたは、御子、主イエス・キリストの贖いにより聖徒たちを祝福し、私たちに神の召命がもつ希望を保証して下さいました。聖徒たちの証に励まされ、また、聖徒たちとの交わりに支えられ、私たちの前に備えられた人生を勇気をもって歩み、聖徒たちと共に、栄光の冠にあずかることができます。

## 感謝聖別祷

着席

司式 聖なる御心を成就し、私たちの救いを成し遂げるために、私たちの主イエス・キリストは苦しみを受ける前日、パンを取り、感謝し、これを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与える私のからだである。私の記念のため、これを行いなさい」。

食事の後、杯をも同じようにして言われました。「取って飲みなさい。これは罪の赦しのため、あなたがたと多くの人のために流す私の血における新しい契約である。私の記念のため、これを行いなさい」。

主なる全能の神よ。キリストの苦しみと死と、栄光の復活と、昇天、また再臨の御約束を思い、あなたに感謝をささげます。私たちはあなたのみ前に立ち、御子の命じられた記念のわざを行います。

父なる神よ。あなた御自身が聖霊によってこれらのパンとぶどう酒を聖別して下さい。これを受ける者が一つとなり、信仰を堅くし、みことばと聖霊に満たされ、御子イエス・キリストによって、あなたを讃美するに至るよう導いて下さい。

聖なる賜物を受ける私たちが、天の祝福と恵みに満たされ、罪の赦しを受け、体も心も清められ、主に喜ばれるすべての聖徒と共に、天の祝宴にあずかるに至るように導いて下さい。

すべての栄光と讃美が、教会において、キリストにより、聖霊と共におられるあなたに、世々限りなくありますように。

会衆 アーメン

## 主の祈り

起立

#一同起立する。

司式 主イエス・キリストが教えて下さった主の祈りを祈りましょう。

一同 天にまします我らの父よ、願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかすものを、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは、限りなく汝のものなればなり。アーメン。

#一同着席する。

## 陪 餐

司式 洗礼の礼典にあずかった方は、聖卓にお進み下さい。洗礼の礼典を受けられていない方、堅信礼を受けられていない方は、聖餐にあずかることはできませんが、祝福を授けます。その場合、司式者に「祝福を」と申し出て下さい。

#まず司式者、奏樂者の順に陪餐する。その後、会衆が順次聖卓に進み出て陪餐する。

#司式者は各々に次のように言い、陪餐者は「アーメン」と言って食する。

司式 あなたに永遠の命を与える主イエス・キリストのからだ。

陪餐者 アーメン

司式 あなたに罪の赦しを与える主イエス・キリストの血。

陪餐者 アーメン

## 感謝の祈り

着 席

司式 全能の神よ。私たちが御子イエス・キリストの体と血によって養って下さったことを感謝いたします。あなたは、これによって私たちに対する愛と恵みを示し、私たちがキリストの体の肢であり、御国の世嗣であることを確かにして下さいました。今、イエス・キリストを通して、自分の体を生きた聖なる供え物として献げます。どうか、聖霊を注いで私たちをこの世に遣わし、御心に適うことを行わせて下さい。

あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、永遠に生きて治められる御子イエス・キリストによって祈ります。

会衆 アーメン

＝ 派 遣 ＝

報告・案内・紹介

着 席

派遣讃美・終りの讃美

起 立

司式 派遣讃美（もしくは終りの讃美） \_\_\_\_番、派遣讃美（もしくは終りの讃美） \_\_\_\_番。

#一同起立する。

祝 福

起 立

#牧師は祝福する。祝福の前に適当な派遣の言葉を唱えてもよい。

牧師 願わくは主があなた方を祝福し、あなた方を守られるように。

願わくは主が御顔をもってあなた方を照らし、あなた方を恵まれるように。

願わくは主が御顔をあなた方に向け、あなた方に平安を賜るように。

父と子と聖霊の御名によって。

会衆 アーメン

後 奏

着 席

#一同着席する。



# 洗 礼 式 文

## 成 人 洗 礼

#式の前に讃美歌を歌ってもよい。

### 序 詞

司式 主イエス・キリストは、その全生涯、とりわけ死と復活によって人類の救いを成就され、この救いに、信じるすべての人をあずからせるために洗礼を制定されました。洗礼によって、神は私たちに聖霊の証印を押して、御自分の民として下さいます。また、死んでよみがえられたイエス・キリストに結び合わせ、罪と死から解放して下さいます。さらに、水と霊とによって新たに生まれ変わらせ、キリストのからだである教会の一員として下さいます。こうして、私たちはキリストの宣教の御業を受け継ぐ者とされるのです。洗礼を受ける者は、神と教会の前に信仰を告白し、教会の一員として誠実に生きることを約束しなければなりません。また、先に洗礼を受けた者も、信仰の告白を新たにしましょう。

### 制 定 語

司式 主イエス・キリストの制定の言葉を聞きましょう。

主は復活の後に弟子たちに命じて言われました。

「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

また、聖書に次のように言われています。

「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」

教会は、今、この御言葉に従い、神の招きを受けた方（方々）に洗礼を施します。

## 志願者の紹介

司式 新井教会の役員会は、洗礼を願い出られた方（方々）と会い、その志を確かめ、この方（方々）に洗礼を受けることに何の妨げもないと判断いたしました。

## 誓 約

司式 ただ今より、洗礼を執り行います。受洗志願者（の皆さん）は前にお進み下さい。

#受洗志願者は聖卓前に進み出る。

司式 \_\_\_\_\_、あなた（あなた方）が洗礼を受けるに当たり、次の問いに答えて下さい。

### 〈新生の誓い〉

司式 あなた（あなた方）は、これまでの罪の道から離れ、洗礼を通して、この世を支配する悪の力を退けることを望みますか。

志願者 <sup>のぞ</sup>望みます。

司式 あなた（あなた方）は、イエス・キリストを自分の主また救い主として受け入れ、その恵みと愛に依り頼むことを誓いますか。

志願者 <sup>ちか</sup>誓います。

司式 あなた（あなた方）は、キリストの忠実な弟子となって、その御言葉に従い、生涯キリストの愛の証人となることを志しますか。

志願者 <sup>かみ たす</sup>神の助けによって <sup>こころざ</sup>志します。

### 〈信仰告白と教会員としての誓い〉

司式 あなたは、日本基督教団信仰告白を告白しますか。

志願者 <sup>こくはく</sup>告白します。

司式 あなたは聖餐を重んじて誠実にこれにあずかり、日本基督教団の教憲・教規に従い、この教会の会員として忠実にその責務を果たすことを約束しますか。

志願者 <sup>やくそく</sup>約束します。

## 信仰告白 日本基督教団信仰告白

司式 一同で日本基督教団信仰告白を告白しましょう。

一同 われらはしんじかつこくはくす。

きゆうしんやくせいしよは、かみのれいかんによりてな成り、キリストをあかし、ふくいんしんりしめをきょう  
かいのたのむべき唯一のせいしよなり。さればせいしよはせいれいによりて、かみにつき、すくいにつ  
て、またちしきわれあとうかみことばにして、しんこうせいかつあやまをきはん

しゅイエス・キリストによりてけいせられ、せいしよにおいてあかしせらるる唯一のかみは、  
ちちこせいれいさんみいつたいかみもうみこわれつみびとすくい  
ひととなりじゅうじかにかかり、ひとたびおのれまたいけにえかみにささげわれあがな  
いひとなりたまへり。

かみめぐをわれえらを選び、ただキリストをしんしんこうを信じず、われつみゆるぎ  
としたまふ。このかわらざるめぐみのうちに、せいれいわれをきよめてぎのみむす  
の御業をみわざじょうじゆもう

きょうかいしゅからだめぐめものつどいきょうかいおおやけ  
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひなり。教会は公  
のれいはいまでもふくいんただのつたえ、バプテスマと主のばんさんせいれいてんとおこな  
ひ、あいほげはげしゅふたたきたもうまのぞ

われらはかくしんじ、よよせいととも、しとしんじょうこくはくす。

われてんちつくぬしぜんのうちちかみしんす。われはそのひとりこ、われしゅ、イエス・キ  
リストを信じず。主はせいしよによりてやどり、おとめうま  
もとに苦しみをうけ、じゅうじかにつけられ、しほうむられ、よみにくだり、みつかめ  
しにん死人のうちよりよみがえり、てんのぼぜんのうちちかみみぎに坐したまへり、かしこ  
より来りて、きたものしものさばわわれせいれいしんせい  
きょうかいせいとまじわりつみゆるからだえとこしえいのちしんす。アーメ  
ン。

## 感謝聖別禱

# 司式者は、会衆にはっきりと分かるように、予め準備した適当な容器から洗礼盤に水を注ぐ。注いだ後、次の祈りを唱える。

司式 祈りましょう。

天地の造り主、全能の神よ、創造の初めに、あなたの霊は水の<sup>おもて</sup>面を覆い、混沌の中から命と秩序を生み出して下さいました。ノアの時には、あなたは水によって悪を滅ぼし、水を経て救われた正しい人々に新しい始まりをもたらしして下さいました。イスラエルを奴隷の地から解放された時も、あなたはイスラエルを水の中を通して、約束の地へ導き出して下さいました。これらの出来事は洗礼の恵みを表すしるしでした。あなたの力ある働きを賛美いたします。

また、主イエスはヨルダン川の水で、ヨハネから洗礼を受け、あなたの霊の注ぎをお受けになりました。さらに主は御自身の死と復活という洗礼によって、罪と死から私たちを解き放ち、永遠の命の道を開いて下さいました。

神よ、今ここに洗礼の水を備えて下さったことを感謝いたします。この水の中で、洗礼を受ける者がキリストと共に死に、キリストと共に葬られ、この水の中から起き上がって、キリストと共によみがえりますように。

この洗礼の水の上にあなたの霊を送って下さい。聖霊の力によって、この水が受洗者の救いと再生の<sup>みなもと</sup>源となりますように。この水によって清められるすべての者に、罪の赦しを与えて下さい。そして、新しい命によみがえらせ、キリストのからだに結び合わせて下さい。

ただひとりの神、父と子と聖霊に、賛美と誉れと栄光が今もとこしえまでもありますように。

一同 **アーメン**

## 洗 礼

#受洗者は洗礼盤の前に進み出る。可能ならば受洗者はひざまづく。

司式 \_\_\_\_\_、私は

父と（#水を注ぐ）

子と（#水を注ぐ）

聖霊の（#水を注ぐ）御名によって、  
あなたに洗礼を授ける。

## 按 手

#司式者は受洗者一人ずつ手を置いて、次のように言う。

司式 主よ、この兄弟／姉妹に聖霊を満たし、知恵と識別、思慮と勇気、神を知り、畏れ敬  
う心をお与え下さい。今もとこしえまでも。

一同 アーメン

## 会衆の参与

司式 教会員の皆さんはお立ち下さい。

#教会員は起立する。

司式 今、この（これらの）兄弟／姉妹（たち）は、洗礼を受けて、私たちの群れに加えら  
れました。あなた方はこの（これらの）兄弟／姉妹（たち）を、祈りによって支え、  
愛をもってその信仰の成長を助けることを約束しますか。

教会員 <sup>ちくそく</sup>約束します。

司式 あなた方も、自分自身の洗礼の恵みを思い起こし、その時言い表した信仰と志を新た  
にして下さい。キリストにおいて、あなた方が共に建てられ、霊の働きによって神の  
住まいとなりますように。

一同 アーメン

#教会員は着席する。

# 幼 児 洗 礼

# 式の前に讃美歌を歌ってもよい。

## 序 詞

司式 主イエス・キリストは、その全生涯、とりわけ死と復活によって人類の救いを成就され、この救いに、信じるすべての人をあずからせるために洗礼を制定されました。洗礼によって、神は私たちに聖霊の証印を押して、御自分の民として下さいます。また、死んでよみがえられたイエス・キリストに結び合わせ、罪と死から解放して下さいます。さらに、水と霊とによって新たに生まれ変わらせ、キリストのからだである教会の一員として下さいます。こうして、私たちはキリストの宣教の御業を受け継ぐ者とされるのです。なお、幼子は、自分の口でキリストへの信仰を告白することはできませんが、すでに恵みの契約のもとにあります。幼子にも洗礼を授けて教会の<sup>えだ</sup>肢とし、主の導きに委ねたいと思います。

## 制 定 語

司式 主イエス・キリストの制定の言葉を聞きましょう。

主は復活の後に弟子たちに命じて言われました。

「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

また、聖書に次のように言われています。

「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」

私たちは、今、この御言葉に従い、主の約束を信じて、神の招きを受けた幼子（たち）に洗礼を施します。

## 志願者の紹介

司式 新井教会の役員会は、この幼子の親（両親）と会い、その志を確かめ、この幼子に洗礼を授けることに何の妨げもないと判断いたしました。

## 両親の誓約

司式 ただ今より、洗礼を執り行います。幼子を司式者の前にお連れ下さい。

#受洗志願者と親は聖卓前に進み出る。

司式 \_\_\_\_\_、あなた（あなた方）は今、この幼子が洗礼を受けることを願っています。

あなた（あなた方）は自分の信仰を省み、神の前に誓約をして下さい。

あなた（あなた方）はこの幼子を神に献げ、やがて成長した時、自ら教会の信仰を告白するようになるために、信仰の教育を施すことを約束しますか。また、幼子のために常に祈り、信仰と生活をもってよい模範となることを約束しますか。

志願者 <sup>やくそく</sup>約束します。

## 会衆の参与

司式 教会員の皆さんはお立ち下さい。

#教会員は起立する。

司式 私たちは今、役員会の判断と、幼子の親（両親）の願いとを聞きました。そこで、あなた方は、この幼子が洗礼によって教会の交わりに入れられることを信じ、これからのち、その信仰の成長を見守り、必要な助けを与えることを約束しますか。

教会員 <sup>やくそく</sup>約束します。

一同 アーメン

#教会員は着席する。

## 信仰告白 日本基督教団信仰告白

司式 一同で日本基督教団信仰告白を告白しましょう。

一同 われらはしんじかつこくはくす。

きゆうしんやくせいしよは、かみのれいかんによりてな成り、キリストをあかし、ふくいんしんりしめをきょう  
かいのよけいせいでんなり。さればせいしよせいれいによりて、かみにつき、すくいにつ  
て、またちしきわれあとうかみことばにして、しんこうせいかつあやまをきはん

しゅイエス・キリストによりてけいせられ、せいしよにおいてあかしせらるるゆいつかみは、  
ちちこせいれいさんみいついかみもうみこわれつみびとすくい  
ひとなじゅうじかにかかり、ひとたびおのれまたいけにえかみささげわれあがな  
いひとなりたまへり。

かみめぐをわれえらを選び、ただキリストをしんしんこうにより、われつみゆるぎ  
としたまふ。このかわらざるめぐみのうちに、せいれいわれをきよめてぎのみむす  
みわざじょうじゆもうの御業を成就したまふ。

きょうかいしゅからだめぐめものつどいきょうかいおおやけ  
のれいはいまでもふくいんただのつたえ、バプテスマとしゅばんさんせいれいてんとおこな  
いあいほげしゅふたたきたもうまのぞ  
ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む。

われらはかくしんじ、よよせいととも、しとしんじょうこくはくす。

われてんちつくぬしぜんのうちちかみしんす。われはそのひとりこ、われしゅ、イエス・キ  
リストをしんす。主はせいれいによりてやどり、おとめうま  
もとに苦しみをうけ、じゅうじかにつけられ、しほうむられ、よみにくたり、みつかめ  
しにん死人のうちよりよみがえり、てんのぼぜんのうちちかみみぎに坐したまへり、かしこ  
より来りて、きたいものしものさばわわれせいれいしんせいこうどう  
きょうかいせいとまじわりつみゆるからだえとこしえいのちしんす。アーメ  
ン。



## 感謝聖別禱

# 司式者は、会衆にはっきりと分かるように、予め準備した適当な容器から洗礼盤に水を注ぐ。注いだ後、次の祈りを唱える。

司式 祈りましょう。

天地の造り主、全能の神よ、創造の初めに、あなたの霊は水の<sup>おもて</sup>面を覆い、混沌の中から命と秩序を生み出して下さいました。ノアの時には、あなたは水によって悪を滅ぼし、水を経て救われた正しい人々に新しい始まりをもたらしして下さいました。イスラエルを奴隷の地から解放された時も、あなたはイスラエルを水の中を通して、約束の地へ導き出して下さいました。これらの出来事は洗礼の恵みを表すしるしでした。あなたの力ある働きを賛美いたします。

また、主イエスはヨルダン川の水で、ヨハネから洗礼を受け、あなたの霊の注ぎをお受けになりました。さらに主は御自身の死と復活という洗礼によって、罪と死から私たちを解き放ち、永遠の命の道を開いて下さいました。

神よ、今ここに洗礼の水を備えて下さったことを感謝いたします。この水の中で、洗礼を受ける者がキリストと共に死に、キリストと共に葬られ、この水の中から起き上がって、キリストと共によみがえりますように。

この洗礼の水の上にあなたの霊を送って下さい。聖霊の力によって、この水が受洗者の救いと再生の<sup>みなもと</sup>源となりますように。この水によって清められるすべての者に、罪の赦しを与えて下さい。そして、新しい命によみがえらせ、キリストのからだに結び合わせて下さい。

ただひとりの神、父と子と聖霊に、賛美と誉れと栄光が今もとこしえまでもありますように。

一同 **アーメン**

## 洗 礼

#受洗者と親は洗礼盤の前に進み出る。

司式 \_\_\_\_\_、私は  
父と（#水を注ぐ）  
子と（#水を注ぐ）  
聖霊の（#水を注ぐ）御名によって、  
あなたに洗礼を授ける。

## 祈 り

司式 各自、心のうちに、この幼子と家庭の上に神の導きを祈りましょう。

#一同はしばらく黙祷する。

司式 祈りましょう。

とこしえの神よ、あなたは、御慈しみによって、私たちの子どもたちの神であると、約束して下さいました。今、この幼子（たち）を洗礼によって受け入れて下さったことを感謝いたします。どうか、豊かな愛をもってこの幼子（たち）を導き、すべての誘惑とつまずきから守って下さい。また、この子（たち）を養い育てる親（両親）を助け、その家庭を祝福して下さい。そして、この子（たち）が信仰において成長し、やがて自分の口で教会の信仰を告白して、生涯あなたに忠実に仕える者となりますように。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

一同 **アーメン**

# 堅 信 礼 式 文

#式の前に讃美歌を歌ってもよい。

## 序 詞

司式 私たちは今、幼い時に洗礼を受けた兄弟／姉妹（たち）が、その恵みに応えて教会の信仰を公にする式を行おうとしています。この兄弟／姉妹（たち）は、すでに洗礼によってキリストに結ばれ、恵みの契約にあずかる者とされましたが、今、自らの口で教会の信仰を告白し、これまで以上の責任をもって教会に仕えようとしています。この兄弟／姉妹（たち）が、このような志に導かれたことを感謝して、これからの歩みのために聖霊の助けを祈り求めましょう。

## 聖 書

司式 聖書から次の言葉を聞きましょう。

「このために、弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった。そこで、イエスは十二人に、『あなたがたも離れて行きたいか』と言われた。シモン・ペトロが答えた。『主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています。』」

また、次のようにも言われています。

「しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。」

## 誓 約

#堅信礼志願者は聖卓前に進み出る。

司式 \_\_\_\_\_、次の問いに答えて下さい。

### 〈新生の誓い〉

司式 あなた（あなた方）は、これまでの罪の道から離れ、洗礼を通して、この世を支配する悪の力を退けることを望みますか。

志願者 <sup>のぞ</sup>望みます。

司式 あなた（あなた方）は、イエス・キリストを自分の主また救い主として受け入れ、その恵みと愛に依り頼むことを誓いますか。

志願者 <sup>ちか</sup>誓います。

司式 あなた（あなた方）は、キリストの忠実な弟子となって、その御言葉に従い、生涯キリストの愛の証人となることを志しますか。

志願者 <sup>かみ たす</sup>神の助けによって <sup>こころざ</sup>志します。

### 〈信仰告白と教会員としての誓い〉

司式 あなたは、日本基督教団信仰告白を告白しますか。

志願者 <sup>こくはく</sup>告白します。

司式 あなたは聖餐を重んじて誠実にこれにあずかり、日本基督教団の教憲・教規に従い、この教会の会員として忠実にその責務を果たすことを約束しますか。

志願者 <sup>やくそく</sup>約束します。

## 信仰告白 日本基督教団信仰告白

司式 一同で日本基督教団信仰告白を告白しましょう。

一同 われらはしんじかつこくはくす。

きゆうしんやくせいしよは、かみれいかんによりてな成り、キリストをあかし、ふくいんしんりしめをきょう  
かいよゆいつせいてんせいしよせいれいにかみすくい  
会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊によりて、神につき、救ひにつ  
て、またちしきわれあとうかみことば  
で、全き知識を我らに与ふる神の言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

しゅイエス・キリストによりて啓示せられ、せいしよにおいてあかしせらるる唯一のかみ  
ちちこせいれいさんみいつたいかみもうみこわれつみびとすくい  
父・子・聖霊なる、三位一体の神にいましたまふ。御子は我ら罪人の救ひのために  
ひとなじゅうじか  
人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を全き犠牲として神にささげ、われらのあがな  
い  
ひとなりたまへり。

かみめぐわれえら  
神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らのつみゆるぎ  
としたまふ。このかわらざるめぐみのうちに、せいれいわれをきよめてぎのみむす  
の御業を成就したまふ。

きょうかいしゅからだめぐめものつどい  
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひなり。教会は公  
のれいはいまもふくいんただのつたえ、バプテスマと主のばんさんせいれいてんとおこな  
ひ、あいほげはげしゅふたたきたもうまのぞ  
ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む。

われらはかくしんじ、よよせいとともしとしんじょうこくはく  
我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

われてんちつくぬしぜんのうちちかみしんわれひとこわれしゅ  
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キ  
リストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめうま  
処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトの  
もとに苦しみをうけ、じゅうじか  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくたり、みつかめ  
しにん  
死人のうちよりよみがえり、てんののぼりぜんのうちちかみみぎに坐したまへり、かしこ  
より来りて、きた  
生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の  
きょうかいせいとまじわりつみゆるからだえ  
教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメ  
ン。

## 祈　　り

司式　祈りましょう。

恵み深い神よ、あなたはかつて水と聖霊によって、この僕（たち）を御自分の民として下さいました。どうか、今、洗礼によって与えられた契約の絆をいよいよ固くして下さい。また、聖霊の力によってこの僕（たち）を送り出し、イエス・キリストの弟子として、その召しに忠実に歩む者として下さい。そして、やがて主が再びおいでになる時、責められるところのない者として、御前に立つことができますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。

一同　アーメン

## 按　　手

# 司式者は受洗者一人ずつ手を置いて、次のように言う。

司式　主よ、この兄弟／姉妹に聖霊を満たし、知恵と識別、思慮と勇気、神を知り、畏れ敬う心をお与え下さい。今もとこしえまでも。

一同　アーメン

## 宣　　言

司式　\_\_\_\_\_は、教会の信仰を告白して、教会の礼拝と宣教と奉仕において、共にキリスト者の務めを果たす仲間、現住陪餐会員となりました。「死に至るまで忠実であれ」。  
主の恵みと平和が、この兄弟／姉妹（たち）と、私たち一同と共にありますように。

一同　アーメン

# 転入会式式文

# 志願者が日本基督教団以外の教会から転入会する場合、この式文を用いる。

## 序 詞

# 入会志願者は司式者の前に立つ。

司式 私たちは今、主にある兄弟／姉妹を、新たにこの教会に迎えようとしています。\_\_\_\_  
\_\_\_\_兄弟／姉妹は、\_\_\_\_教会において洗礼を受け、\_\_\_\_教会で信仰生活を送  
ってきましたが、この度日本基督教団新井教会に入会することを申し出られました。  
役員会は正規の手続きを経て、この兄弟／姉妹の入会を承認いたしました。そこで、  
私は、今ここに、\_\_\_\_兄弟／姉妹の転入会式を行います。

## 志願者の誓約

司式 今、私は神と日本基督教団の名において、あなた（あなた方）に尋ねます。

あなた（あなた方）は、日本基督教団の信仰告白を告白し、この教会の会員としてふ  
さわしい生活を送り、主の栄光をあらわすことを約束しますか。

志願者 <sup>やくそく</sup>約束します。

## 教会員の誓約

# 教会員は起立する。

司式 教会員の皆さんに尋ねます。

あなた方は、今この教会に入会する\_\_\_\_兄弟／姉妹を、主にある信仰と愛によっ  
て受け入れ、共に主の栄光をあらわすことを約束しますか。

教会員 <sup>やくそく</sup>約束します。

# 教会員は着席する。

## 信仰告白 日本基督教団信仰告白

司式 一同で日本基督教団信仰告白を告白しましょう。

一同 われらはしんじかつこくはくす。

旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊によりて、神につき、救ひにつきて、全き知識を我らに与ふる神の言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる唯一の神は、父・子・聖霊なる、三位一体の神にいましたまふ。御子は我ら罪人の救ひのために人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を全き犠牲として神にささげ、我らの贖ひとなりたまへり。

神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らの罪を赦して義としたまふ。この変らざる恵みのうちに、聖霊は我らを潔めて義の果を結ばしめ、その御業を成就したまふ。

教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集ひなり。教会は公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝え、バプテスマと主の晩餐との聖礼典を執り行ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む。

我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをうけ、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

## 祈り

司式 主なる神、\_\_\_\_\_兄弟／姉妹を、私たちの教会の会員に加えて下さったことを感謝します。どうか兄弟／姉妹に恵みと祝福を与え、この教会の一員として、信仰から信仰へと歩ませて下さい。そして、私たちが、この兄弟／姉妹と共に、御子イエス・キリストのからだである教会を、いよいよ豊かに造り上げていくことができるようにお導き下さい。主イエス・キリストの御名によって祈ります。

一同 アーメン



# 転会式式文

# 志願者が日本基督教団の教会から転会する場合、この式文を用いる。

## 序 詞

# 入会志願者は司式者の前に立つ。

司式 私たちは今、日本基督教団\_\_\_\_\_教会の会員である\_\_\_\_\_兄弟／姉妹を、新たに私たちの教会に迎えようとしています。役員会は正規の手続きを経て、この兄弟／姉妹の入会を承認いたしました。そこで、私は、今ここに、\_\_\_\_\_兄弟／姉妹の転会式を行います。

## 志願者の誓約

司式 今、私は、あなた（あなた方）に尋ねます。

あなた（あなた方）は、この教会の会員としてふさわしい生活を送り、主の栄光をあらわすことを約束しますか。

志願者 <sup>やくそく</sup>約束します。

## 教会員の誓約

# 教会員は起立する。

司式 教会員の皆さんに尋ねます。

あなた方は、今この教会に入会する\_\_\_\_\_兄弟／姉妹を、主にある信仰と愛によって受け入れ、共に主の栄光をあらわすことを約束しますか。

教会員 <sup>やくそく</sup>約束します。

# 教会員は着席する。

## 祈 り

司式 主なる神、\_\_\_\_\_兄弟／姉妹を、私たちの教会の会員に加えて下さったことを感謝します。どうか兄弟／姉妹の上に、恵みと祝福が満ちあふれますように。そして、私たちが、この兄弟／姉妹と共に、御子イエス・キリストのからだである教会を、いよいよ豊かに造り上げていくことができるようにお導き下さい。主イエス・キリストの御名によって祈ります。

一同 アーメン



# 主日共同礼拝式文の解説

## 神の招き

### 点鐘・前奏・入堂

点鐘と前奏によって礼拝の開始を告げる。

### 招 詞

礼拝に集う神の民に対して、主の招きの言葉が告げられる。

### 開式讃美

会衆は主の招きに応え、賛美において一つとされる。教会暦に即した讃美歌、礼拝の開式にふさわしい讃美歌が選曲される。

### 罪の告白

へりくだった心で神に向かうよう罪を告白する。

### 憐みの賛歌 [キリエ]

主に呼びかけて、憐みを願う。

### 詩編交読・グロリア・パトリ [頌栄]

旧約聖書の時代より歌われ続けてきた詩編の言葉をもって主に賛美する。詩編の歌を三位一体の神への賛歌とするため、最後にグロリア・パトリを加えて歌い神に栄光を帰する。

## 御言葉の礼拝

### 祈 り (御言葉を聴く備えの祈り)

御言葉を正しく受け止めることができるように、神の導きを求めて祈る。

### 聖書朗読

聖書朗読によって神の語りかけを聴く。

### 祈願讃美

御言葉を求める歌を歌う。

### 説 教

神・キリストが紹介され、福音が提示される。

### 応答讃美

御言葉の礼拝を締めくくる賛美。一同の歌によって福音に応答する。

## 信仰の告白

### 信仰告白

福音への応答として、私たちの教会の信仰を世界の教会と共に、すでに召された聖徒たちと共に告白する。

## 感謝の礼拝

### 執り成しの祈り

教会とすべての人々のために神の祈りを求める。

### 平和の挨拶

献げものをする前に和解せよと勧められた主イエスの言葉に倣い、司式者による平和を告げる言葉の後、会衆は互いに平和の挨拶を交わし、相互の交わりと和解を確認する。

### 献 金

自分の体を神に献げることのしるしとして献金を献げる。それと共に、聖餐で用いられるパンとぶどう酒を聖餐のために献げる。

### 聖 餐

#### (序 唱)

感謝の祈りの始まる部分。創造における神の御業への感謝、旧約以来の父なる神と御子による救いの御業への感謝、聖霊を遣わし、教会を立て、私たちが神の民として立てられたことへの感謝が唱えられる。

#### (サンクトゥス [聖なるかな])

聖なる偉大な主イエスが私たちの食卓にまでやって来て下さることに、深い畏れと感謝をもって迎える。

#### (感謝聖別祷)

キリストの救いの御業に対する感謝が祈られる。同時にキリストが最後の晩餐で語られた言葉が唱えられ、私たちはパンとぶどう酒がキリストの体と血であることを信仰をもって受けとめる。そして、献げられたパンとぶどう酒が聖霊によって聖別されるように祈る。

#### (主の祈り)

私たちの霊の糧である聖餐を受ける備えとして主の祈りを祈る。聖餐によって永遠の命と罪の赦しを与えられる。また、神の国の祝宴の先取りとして行われる聖餐にあずかる者として、神の国の到来を求めて主の祈りを祈る。

#### (陪 餐)

信仰をもって主がおられる聖卓に進み出て、主の食卓を囲んで聖餐にあずかり、永遠の命と罪の赦しを受ける。

#### (陪餐後の感謝の祈り)

聖餐にあずかったことを感謝し、信仰生活の聖化を求めて祈る。

## 派遣

### 報告・案内・紹介

礼拝後の交わりや奉仕の前提として、教会の活動や教会員の消息などについて報告する。

### 派遣讃美

主に遣わされる者として、賛美を歌う。

### 祝福

三位一体の神の祝福を受け、私たちはそれぞれの場に遣わされ、神と隣人に仕える歩みをする。

### 後奏

祝福を受けた私たちは、それぞれの場へと神によって押し出される。

## 礼拝堂の聖卓部の配置

### \*聖書朗読台（説教台）

会衆席から向かって左側（会衆席に向かって右側）に配置される。「右」は神の正義と救いを行行使する「神の右手」を象徴する。神の救いが告知される場である。

### \*聖卓

聖卓部の中心に配置される。聖卓においてそこにおられる聖餐のキリストは、私たちの贖罪信仰の中心であり、礼拝の中心である。

### \*聖卓上の燈火・燭台

人間の食卓の象徴であり、安息日の象徴であり、過越しの食卓の象徴である。古代より、ユダヤ社会の安息日・過越祭の食卓の祭りにおいては1対の燈火が灯された。また1対の燈火は、神でありまことの人である（神性と人性を共に持つ）イエス・キリストが、世の光として礼拝・聖餐において臨在されることの象徴でもある。

## 参考資料

日本基督教団信仰職制委員会編『日本基督教団式文（試用版）——主日礼拝式・結婚式・葬儀諸式』日本基督教団出版局、2006年

日本基督教団信仰職制委員会編『日本基督教団式文（試用版Ⅱ）——洗礼式ならびに入信諸式、転入会式・転会式、正教師按手礼・補教師准允式、教会諸式、個人の信仰生活に関する諸式』日本基督教団出版局、2009年

日本聖公会『日本聖公会祈祷書』日本聖公会管区事務所、1991年、改訂2004年

日本福音ルーテル教会・日本ルーテル教団共同式文委員会監修『ルーテル教会式文（礼拝と諸式）』日本福音ルーテル教会、2001年

## 礼拝式文

2012年11月18日 初版発行

発行 日本基督教団新井教会

〒944-0044

新潟県妙高市栄町3番16号

電話(0255)72-2857

印刷・製本 日本基督教団高田教会印刷所



